

2025年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや

1 事業活動方針

任意団体としての活動を引き継ぎ、全国の範となるよう、地域教育を推進させる。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 自然体験活動に関する事業

ア 海事業（事業名称：「海 L♡VE かまくら」）

- ・内 容 海という鎌倉ならではの自然環境を存分に生かした、様々な体験を実施する。Save Our Shore（神奈川県海水浴場組合連合会）・鎌倉アウトリガークラブ・鎌倉ライフガードに協力いただきながら事業を展開する。
- ・日 時 ①7月6日、②7月20日、③9月7日（全3回）
- ・場 所 材木座海岸、由比ガ浜海水浴場、葉山マリーナ
- ・従事者人員 61人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども44人 大人4人 合計48人
- ・支 出 238,415円

イ 鎌倉めぐり事業（事業名称：「鎌倉めぐり」）

- ・内 容 鎌倉博士・大貫昭彦先生と鎌倉の自然・史跡を歩きめぐることによって、今まで気づくことのできなかった新たな鎌倉を発見する。子ども・大学生・保護者の3つの世代がともに歩くことにより、新たな関係性の構築を目指す。
- ・日 時 ①6月22日 ②9月21日 ③11月2日 ④3月15日（全4回）
- ・場 所 名越切通し、鐙摺城跡、衣笠城址、長尾城址
- ・従事者人員 58人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども32人 大人14人 合計46人
- ・支 出 217,718円

ウ 食育事業（事業名称：「都会と田舎を結ぶ食育ネット」）

- ・内 容 学校、家庭、地域の連携のなかで子どもたちを育てる、という理念の実現に向けて、学校との連携（融合）を進めてゆく。鎌倉附属小学校との連携も深めていく。今年度は、附属鎌倉小学校での畑事業の開催及び、1泊2日のキャンプ事業を実施
- ・日 時 ①6月29日 ②7月13日 ③8月3日 ④10月5日 ⑤事前活動11月16日、⑥食育キャンプ11月22～23日（全6回）
- ・場 所 附属鎌倉小学校内太陽農場、ちがさき柳島キャンプ場、鎌倉青少年会館
- ・従事者人員 161人（大学生：151人、大人10人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生及び保護者
子ども：117人 大人：26人 合計143人
- ・支 出 689,461円

② 芸術創作活動に関する事業

ア 陶芸教室事業（事業名称：「土と遊ぼう」）

- ・内 容 講師の河村喜史先生のもと、子ども・親・学生の三世代がともに作陶にはげむ。3回を通して一事業とする。最初の2時間が陶芸、残りの1時間は、子どもは学生と遊び、保護者は懇親会を行う。
陶芸を通じて、1回目で「できた」、2回目で「つかんだ」、3回目で「やりぬいた」というような感動体験を得てもらえる場を作る。
- ・日 時 ①5月11日 ②6月8日 ③7月13日 ④9月14日 ⑤11月9日
⑥12月14日 ⑦2月15日 ⑧3月8日（全8回）
- ・場 所 講師の河村喜史先生宅（鎌倉市山崎）
- ・従事者人員 43人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども63人 大人36人 合計99人
- ・支 出 700,995円

イ 朗読教室事業（事業名称：「みんなで朗読」）

- ・内 容 良い文章を耳で聞き、声を出して読む事を通して、朗読の楽しさを体感する。また、日本語の美しさに対する感性や想像力、読解力を培う。
朗読で扱った文学作品の解説を聞き、名作のもつ世界観を味わう。
- ・日 時 ①5月25日 ②6月29日 ③7月27日 ④9月28日 ⑤10月26日
⑥11月30日 ⑦12月20日 ⑧1月25日 ⑨2月15日（全9回）
- ・場 所 円覚寺塔頭、円覚寺信徒会館、他
- ・従事者人員 127人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：93人 大人：52人 合計145人
- ・支 出 505,505円

③ 広報啓発に関する事業

ア 建長寺合宿事業

- ・内 容 建長寺で大学生とお寺の生活を共にする二泊三日の合宿。心の底から楽しみながら、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことから、「当たり前のこと」を一所懸命、本気でやる大切さとその歓びを体感する。
- ・日 時 8月26～28日（二泊三日）
- ・場 所 臨濟宗 大本山 建長寺
- ・従事者人員 169人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：69人 大人：83人 合計152人
- ・支 出 2,365,586円

イ 妙本寺合宿事業（冬キャンプ事業）

- ・内 容 妙本寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿を予定していたが、コロナ禍以降、キャンプ場にて宿泊体験を実施。学童保育施設に遊びに来ている子どもたちを主な対象として、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、日常の生活では体験できない、心の底からの楽しみを経験する

- ・日 時 2月21～22日（一泊二日）
- ・場 所 横浜市こども自然公園青少年野外活動センター
- ・従事者人員 77人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：57人 大人：54人 合計111人
- ・支 出 908,775円

ウ 光明寺合宿事業

→2025年度は活動無し

エ 子どもの居場所づくり事業（事業名称：「休日てらこやハウス」「平日てらこやハウス」）

- ・内 容 子ども・学生・保護者がてらハウスに集まり、“本気”で遊び、話し合い、学びあう。そうして過ごす時間から、子ども自身が「やりたい！」と思うことを発見し、学生・保護者の力添えを得ながら、やりたいことを自らの力で実現できるようになることを目指す。
2012年度からは、平日の「てらハウス」の開放も開始している。
オンライン事業「たまりば」も居場所事業として実施。
- ・日 時 2025年4月～2025年6月
①休日てらハウス：全54回/オンライン：全3回
②平日てらハウス：全222回
- ・場 所 鎌倉市大船1-25-23 千里ビル3F
- ・従事者人員 ①703人（学生：631人・大人スタッフ：72人）
②1413人（学生：1191人・大人スタッフ：222人）
- ・対 象 者 小学1年～中学3年生、高校生
①子ども：816人 ②子ども：2,383人
- ・支 出 ①1,712,943円 ②3,816,391円

オ 広報活動・報告書作成事業（事業名称：「鎌倉てらこや広報活動」）

- ・内 容 「鎌倉てらこや」の実際の活動及び理念を多くの人々に理解してもらうために、「鎌倉てらこや」HP・Facebook・公式LINEグループ運営等を実施。多くの人々にてらこや活動へと参加してもらう足がかりを作る。寄付者・支援者を対象とした「てらこや感謝祭」（活動報告会）の実施。
- ・日 時 ・Facebook・公式LINEグループ運営 常時
・鎌倉てらこやHP運営
・「てらこや感謝祭」（活動報告会）3月22日
・「てらこやLIVE」（活動写真報告会）3月27～29日
- ・場 所 鎌倉市内各所・鎌倉大仏殿高德院・(株)銀の鈴社 他
- ・従事者人員 133人（大学生：118人、大人15人）
- ・対 象 者 参加登録者・発起人・関係団体の方・
鎌倉地区の小・中学生およびその保護者 およそ3,000人
- ・支 出 415,701円

カ 人材育成事業

- ・内 容 1. 新規大学生ボランティアの獲得のための新歓事業
2. 学生理事の研修とチームビルディング事業
3. 事業運営を担う学生の育成事業
4. コアスタッフ間（大人・事務局・学生）の目的・目標の共有事業
新入大学生のオリエンテーション事業も実施。
- ・日 時 ・4～5月：新歓イベント（オンライン説明会等）の実施
・学生イベントの実施（随時）
・オリエンテーション事業（遊ビバ）の実施（年6回）
- ・場 所 オンライン会議システム、鎌倉海浜公園他
- ・従事者人員 183人（学生173人・大人：10人）
- ・対 象 者 子ども80名 ボランティア大学生スタッフ
- ・支 出 257,366円

キ 地域連携事業

- ・内 容 1. 鎌倉を拠点とする地元企業へと協力を呼びかける発信事業
2. 行政連携を中心とした拡大事業
3. 地域の諸団体との連携事業（「溶接大作戦」「エンジョイ！カバディ」）
- ・日 時 ・大船まつりへの参加（5月）
・大船夜市への参加（11月）
・てらこやゼミの実施
・ウエルカムてらこや事業の実施 他
- ・場 所 鎌倉市内各所
- ・従事者人員 158人（学生：150人・大人：8人）
- ・対 象 者 鎌倉市内企業、鎌倉市内諸団体等
- ・支 出 42,820円

ク ネットワーク事業（事業名称：「てらこやネットワーク」）

- ・内 容 全国40カ所に広がる各地てらこやの参加者やスタッフ（学生・大人スタッフ・子ども）の交流を図り、各地域の特色を活かし、事業の相乗効果をねらう。
- ・活動内容 ・リーダーズ合宿@宗禅寺（6月14～15日）
・てらこや世界遺産キャンプ@宮島（10月11～13日）
・全国てらこやネットワーク総会（2月14日）
・全国てらこや交流事業（てらこやちば、戸塚てらこや、町田てらこや、武蔵てらこや、伊勢崎てらこや、豊田てらこや、宮島てらこや、龍雲寺てらこや、加古川てらこや、函館てらこや、市川てらこや、寺子屋つばさ）他

※震災復興事業は活動無し

- ・場 所 オンライン会議システム、宮島弥山大聖院 高野山 各地てらこや他
- ・従事者人員 94人（学生76人・大人18人）
- ・対 象 者 てらこやネットワーク参加のJC・地域の協力者・子どもたち
- ・支 出 147,590円

ケ 出向事業

- ・内 容 鎌倉市の学童保育施設16か所（各こどもの家・放課後かまくらっ子）

及び民間学童ふかふかへ、大学生を派遣している。「てらこや」本体の事業から飛び出して、地域の中にも子どもたちや保護者と大学生という3世代が関わることによって生まれる「よき人との出会い」及び「感動体験」が育まれていく環境を作る。

また、子ども会館だけでなく、今泉小学校で実施されている稲村ガ崎小学校の「稲小らんらんスクール」にもボランティア参加。

放課後かまくらっ子ふさかわ・おさか・にかいどう・ふじづかにて実施された高学年プロジェクトも協力

- ・日 時 2025年4月～2026年3月毎週各会館1回ずつ開催（全635回）
- ・場 所 大船こどもの家・山崎こどもの家・富士塚こどもの家・関谷こどもの家・今泉こどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・
小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・植木こどもの家・
七里ガ浜こどもの家・二階堂こどもの家・御成こどもの家・
稲村ガ崎こどもの家・腰越こどもの家・ふかふか
- ・従事者人員 大学生スタッフ：1,929人
- ・対 象 者 各学童施設、大船（120人）・山崎（100人）・富士塚（40人）・関谷（40人）・
今泉（40人）・玉縄（80人）・西鎌倉（60人）・小坂（100人）・第一（60人）・
深沢（100人）・植木（40人）・七里ガ浜（30人）・二階堂（30人）・
御成（100人）・稲村ガ崎（30人）・腰越（40人）・ふかふか（20人）
に通うに通う小学生
- ・支 出 1,931,415円

サ 鎌倉市児童育成支援拠点事業

- ・内 容 養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童の居場所となる場を開設し、個々の児童とその家庭の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、児童虐待の防止や、児童の最善の利益の保障と健全な育成を図ることを目的として、居場所となる拠点事業を実施する。
- ・日 時 原則として月・水・金の15～18時に開室する。
長期休暇期間は月・水・金の10～18時に開室する。全153回実施。
- ・従事者人数 875人（学生455人・大人420人）
- ・対 象 者 養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童及びその保護者。子ども：544名参加。
- ・支 出 18,659,942円（業務委託事業費）